

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/06/07

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.44	-0.16
JPY/THB	0.2341	-0.0003
USD/JPY	155.61	-0.50
EUR/THB	39.67	-0.09
EUR/USD	1.0890	0.0021
USD/CNH	7.259	0.000
SGD/THB	27.07	-0.06
AUD/THB	24.29	-0.04
USD/INR	83.48	0.10
USD Index	104.10	-0.17

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.516	-0.006
10Y (THB)	2.791	-0.011
5Y (USD)	4.299	0.005
10Y (USD)	4.287	0.011

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,370.3	16.2
WTI (Oil)	75.55	1.48
Copper	10,149.0	223.5

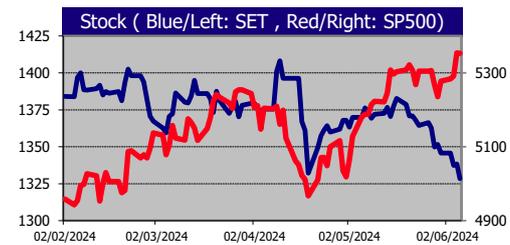
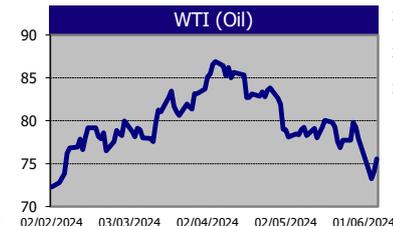
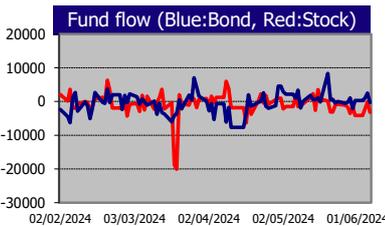
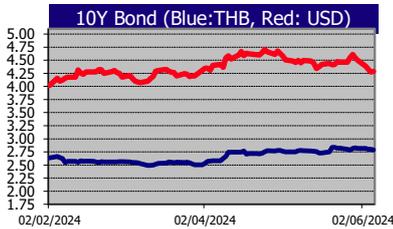
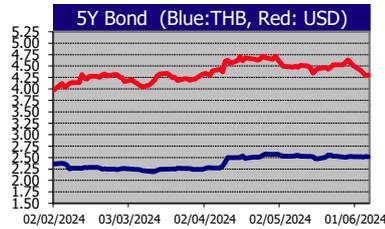
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,328.41	-9.91
NIKKEI (JP)	38,703.51	213.34
DOW (US)	38,886.17	78.84
S&P500 (US)	5,352.96	-1.07
SHCOMP (CN)	3,048.79	-16.61
DAX(GER)	18,652.67	76.73

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,185)	-3063.4
Bond net flow	(331)	-2858.9

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅に下落。36パーツ台半ば付近で取引を開始すると、早々に小幅に下落するも、バンコク時間終盤にかけて下落分を取り戻す動きを見せ、36.50を挟んで上下する値動きに。海外時間に入り、米新規失業保険申請件数・継続受給者数ともに予想対比悪化したことに加え、ECB理事会にて予想通り利下げが実施されたものの、以降の利下げパスについてタカ派のと捉えられたことから、ユーロドルでのドル売りが波及する格好でドルパーツも上値重く推移。結局36.44レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に下落。155円台後半で取引を開始すると、前日の米金利低下の流れを引き継ぐ格好で上値重く推移。一時155円台前半まで下落した。ただ、バンコク時間正午頃にかけて行われた中村・日銀審議委員の講演にて「今のタイミングでの利上げは早い」との発言が確認されたことからドル円は反転。156円台前半まで上昇した。以降はしばらく同水準での推移が続いたものの、海外時間に入り、弱い米経済指標、タカ派的なECBの利下げを経て上値の重い推移となり、じりじりと155円台半ばまで下落すると、そのまま155.61レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日は欧州ECBが市場予想通り0.25ポイントの利下げを決定した。主要国では3月のスイス、5月のスウェーデン、今週5日のカナダに続く利下げであり、いよいよ各国の金融政策が転機を迎え始めてきたと言える一方で、今後の利下げパスについてはどの国も判然としない状況が続く。欧州については年内3回の利下げが大方のエコノミストの想定だが、昨日のECBでは追加利下げに関する示唆はなく、また、ここ1か月の主要経済指標の殆どが予想比で強い状況が続いていることを鑑みると、ここからの歩みはECBの想定通りには進まないという展開も意識しておきたい。足許では東京市場も不安定な動きを続けており、日銀が次回会合で国債買入の減額を検討するという観測報道が、円高や株安の契機になった一方で、債券市場については、弱めの米経済指標を受けた米金利低下を背景に債券高(金利低下)が進むなど、複雑な相場展開が見られるようになってきた。今夜は米国で5月雇用統計が発表されるほか、来週は日米、そしてタイでも政策決定会合が開催される。一連の会合については、いずれも金利変更を予想する向きは殆どないが、今後の利下げないしは利上げの時期を示唆するヒントが出るかは注目される。加えてタイでは来週以降上院議員選挙も始まるため、政治面でも不透明な要素は盛り沢山の状況だ。為替が気になるお客さまについては早めにヘッジに取り組むことを推奨したい。(吉田)